

JICA主催・JAXA共催・CONSEO協力セミナー 「地球環境分野における宇宙技術活用最新動向」

独立行政法人国際協力機構（JICA）は宇宙技術を利用して開発途上国の社会課題を解決するため、多様なパートナーとの連携強化を目指しています。この一環で実施している宇宙国際頭脳循環プログラムでは、日本の産官学関係機関のネットワークを強化し、衛星データ等の宇宙技術の利活用を推進しています。

本セミナーは、地球環境分野の中でも特に水資源・水文分野に焦点を当てて、同分野の課題解決に資する技術を持つ民間企業や開発コンサルタント等の国際協力現場の実務者向けに、国内民間企業による地球環境分野における宇宙技術等の活用事例を紹介し、宇宙技術等を有する民間企業の地球環境分野への新規参入促進や開発途上国における地球環境分野の課題解決方法を考える場を提供し、同分野の人的ネットワークの強化を目的として実施します。

■開催概要

日時：2026年2月19日（木）14:30-17:30（14:00会場受付開始）

形式：会場またはオンラインでの参加

会場：X-NIHONBASHI TOWER

（東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー7階）

参加対象者：

- ・ 地球環境分野への参入や技術活用に関心のある民間企業等
- ・ 開発コンサルタント企業
- ・ JICA職員

■プログラム

14:30-14:35 **開会挨拶**（JICA）

14:35-14:55 **「水資源・水文分野に関するJAXA重点テーマ及び関連宇宙技術の紹介」**

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）第一宇宙技術部門 地球観測研究センター主任研究開発員 山地 萌果 氏

14:55-15:15 **テーマ概観共有「水資源・水文分野における開発課題と宇宙技術等の活用可能性」**

日本工営株式会社 基盤技術事業本部 統合情報技術部 杉本 光 氏

15:15-16:00 **民間企業による地球環境分野への宇宙技術等の活用事例紹介**

- ・ 「IoTセンサーと通信衛星を活用した水資源の遠隔観測と衛星・地上データ統合および可視化ツールの実装」
株式会社アークエッジ・スペース ソリューション・エコシステム事業本部 データソリューション部 関 宇人 氏
- ・ 「次世代衛星SWOTと洪水氾濫モデルCama-Floodによる水文情報解析」
株式会社Gaia Vision 研究員 博士(工学) 石川 悠生 氏
- ・ 「衛星データを活用した建物把握アルゴリズムによる水需要予測に資する人口動態の推定」
株式会社スペースシフト 技術開発部 リモートセンシング課 テックリード 佐藤 功一 氏
- ・ 「コネクテッド車両データを用いた降水量の推定技術」
本田技研工業株式会社 四輪事業本部 SDV事業開発統括部 SDV統合戦略部 杉本 佳昭 氏

16:10-16:55 **パネルディスカッション「地球環境分野における宇宙技術活用の可能性と課題」**

モデレーター：JICA、パネリスト：JAXA、登壇民間企業4社

16:55-17:00 **閉会**（JICA）

17:00-17:30 **会場でのネットワーキング（名刺交換）** ※会場参加のみ

■参加申込（申込期限：2月18日(水) 日本時間正午）

下記ウェブサイト（Microsoft Forms）に必要事項を記入の上、お申し込みください。

<https://forms.office.com/e/5dFeWeq5D4>

※会場参加は申込が定員（90名）に達した際に、申込受付を終了する場合がございますので、ご了承ください。



本セミナーに関するお問い合わせ先：
JICA宇宙分野国際頭脳循環プログラム事務局
E-mail：space-for-development@tohmatu.co.jp